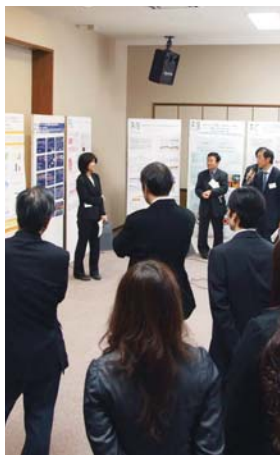


学会総会

第37回・福岡歯科大学学会総会 「痛み」をテーマとした シンポジウムなど盛況に

学内外から約300名の参加を受けて開催

12月12日、福岡県歯科医師会館において第37回・福岡歯科大学学会総会・会長・湯浅賢治（画像診断学分野教授）が開催され、学内外から約300名の参加がありました。「痛み」をテーマとしたシンポジウムでは、本学分子機



ポスター展示会場の様子。

能制御学分野の大久保つや子准教授の基調講演、痛みとその修飾の機序。最近の知見からわかってきたこと。その後、本学卒業の歯科医である上林融氏（3期生）、石川昌嗣氏（18期生）、野上堅太郎氏（22期生）や和嶋浩一氏（慶應義塾大学歯科口腔外科学専任講師）の講演があり、参加者からは活発な質疑応答がありました。また、そのほか一般口演とポスター展示が行われました。

学会奨励賞には山本勝己講師（口腔インプラント学分野）と諸富孝彦講師（歯科保存学分野）が選ばれました。

卒後研修 口腔インプラント 卒後研修プログラム 初級講習会を開催

ラント治療の基本的知識と技術の修得を目的としており、28名の受講者は2月6日までのうち計5日間受講します。

臨 床研修医、専攻生、医員、その他インプラント治療に興味のある若手歯科医師を対象とした口腔インプラント卒後研修プログラム初級講習会が10月31日を皮切りにスタートしました。

この講習会は、インプラント治療を始めるために必要なインプ



熱心の実習を受ける受講者たち。

クリスマス忘年会

サンシャインシティ・サンシャインプラザにてクリスマス忘年会を開催

12月19日、介護老人保健施設サンシャインシティにてクリスマス忘年会が、また12月23日には隣接の介護老人福祉施設サンシャインプラザにて忘年会が開催されました。入所者や職員による出し物などが披露され、入所者や利用者ご家族、職員ら共々大いに賑わい、楽しいひと時を過ごしました。



サンシャインシティクリスマス忘年会。

慰霊祭

第35回を迎えた「献体者慰霊祭」
「実験動物慰霊祭」

10月14日、午後1時から博多区祇園町の普賢山萬行寺において「第35回献体者慰霊祭」が、また同日午後4時半からアールセンター実験動物慰霊碑前において、第35回実験動物慰霊祭が、しめやかに営まれました。関係者が多数参列し、献体者、実験動物それぞれ尊い御霊のご冥福をお祈りしました。



「献体者慰霊祭」で中辞を讀む中嶋宏樹さん(2年)



感謝の気持ちで冥福を祈った実験動物慰霊祭。

就業セミナー

福岡医療短期大学
就業力ガイダンス
セミナー開催

本年度、福岡医療短期大学が選定された「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラムの一環として、サンシャインシティ、サンシャインプラザの施設長や本学卒業生によるガイダンスセミナーを実施してきました。来年度は新たに選定された「大学生の就業力育成支援事業」の中でも、さらに取り組みを充実させてまいります。



ガイダンスの様。

学友会

学生自身も
禁煙活動に
取り組みました

平成22年度福岡歯科大学学友会事業計画の中で、禁煙活動を行うことが総務委員会決定され、10月1日から12月まで体育部会・学術文化部会の持ち回りで研修センター周辺の清掃活動や、禁煙啓発ポスターの掲出などの活動を自主的に行いました。



学外の清掃を行う学生たち。

この遠い道程の為に

「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」は高村光太郎の有名な詩ですが、私たちはこれまで、先人の歩いた道をお手本として、努力してきました。しかし、地球温暖化、異常気象、資源枯渇など世界は混沌とし、いつのまにか先人の作った

道が見えなくなっています。ふと後ろを振り返ると、道はできておらず、「後ろに道ができる」のは作られた道を歩いてきたからではなく、道を作ったからであることに気付かされるのです。だからこそ、凛とした緊張感と強い意志がこの言葉から放たれ、私たちの心に何回も突き刺さるのだと思います。今までにないこと、人と違うことの中に新しい道があり、これ

からの時代は人と違うことを恐れるのではなく、人と違うことを誇ることが大事なのだと思います。「この遠い道程」を進む力は人と違う私自身の中にあり、そう考えると、気力が充実してきます。新しい年の新しい一日はこれまでと変わらない一日ですが、目標に向かって着実に歩を進める新鮮な一日です。